令和３年産 早期栽培稲作ごよみ

JAむなかた　営農振興部農産販売課　36-2119
グリーンセンター本　店　36-4785
グリーンセンター福　間　43-0939
グリーンセンター津屋崎　52-2900
北筑前普及指導センター　水田農業係　43-8833

稲の生育と主な作業

項目	品種	3月 上	3月 中	3月 下	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下
稲の生育と主な作業	コシヒカリ	3/20播種			4/20~4/25田植			中干し開始			穂肥			7/13頃出穂			8/16頃 収穫					
								田植え後35日頃			出穂18日前（幼穂長3~5㎜）						出穂から33日頃					
	夢つくし	3/30播種			5/1田植			中干し開始			穂肥			7/19頃出穂			8/21頃 収穫					
								田植え後30日頃			出穂20日前（幼穂長2~3㎜）						出穂から33日頃					
	水管理	やや浅水		浅水		間断かん水			間断かん水						浅水			間断かん水		落水			
	生育	育苗準備	育苗35日~30日間		活着	分げつ期					穂の生育期			出穂			乳熟期		登熟期	成熟期		

収穫

- 収穫適期は、７割程度の籾が黄化し、穂首に近い籾はわずかに緑色が残っている時期。
- 高温下の登熟なので、普通期栽培より収穫適期が短い（５日間程度）。

水管理

- 収穫１週間前までは、間断かん水又は飽水管理を続ける。早い時期の落水は、登熟不良・品質低下を招く。
- 台風襲来時は、茎葉からの蒸散が大きいため、深水とする。

病害虫防除

基幹防除　補正防除

防除農薬

10アール当たり

種子消毒

ばか苗病・いもち病
苗立枯細菌病・ごま葉枯病
イネシンガレセンチュウ
もみ枯細菌病

	2薬剤混用	スミチオン乳剤	テクリードCフロアブル
種子	10kgの場合		
希釈水量	20ℓ		
薬量		20mℓ	100mℓ
倍率		1,000倍	200倍
時間	24時間浸漬		

箱施薬

- **ダコレート水和剤**（水10ℓに25g）（は種時覆土前~移植当日）
  【は種時~緑化期】1000~2000倍液（水10ℓに10~5mℓ）（0.5ℓ／箱）
  【は種時】2000倍液（水10ℓに5mℓ）（0.5~1ℓ／箱）
- **ナエファインフロアブル**（0.5ℓ／箱ジョロ潅注）
  苗立枯病・ムレ苗防止・発根促進
- **スクラム箱粒剤** 50g／箱（ウンカ類・コブノメイガ・いもち病・紋枯病他）
  （は種時覆土前~移植当日）
- **オリゼメートオンコル粒剤** 50g／箱（ウンカ（セジロ・ヒメトビ）・イネミズゾウムシ・いもち病他）
  （移植3日前~移植当日）

粉剤体系

- **ビーム粉剤DL** 3~4kg（いもち病・穂枯れ 収穫7日前まで）
- **ダブルカットバリダトレボン粉剤3DL** 3~4kg（穂揃期まで）（いもち病・紋枯病・ウンカ類・カメムシ類他）
- **キラップ粉剤DL** 3~4kg（ウンカ類・カメムシ類他 収穫14日前まで）
  又は
  スタークル粉剤DL 3kg（ウンカ類・カメムシ類他 収穫7日前まで）

液剤体系

- **ノンブラスフロアブル** 1000倍（いもち病 収穫7日前まで）
- **ダブルカットバリダフロアブル** 1000倍（いもち病・紋枯病 穂揃期まで）
- **キラップジョーカーフロアブル1000** 倍（ウンカ類・コブノメイガ・カメムシ類他）（収穫14日前まで）
- **キラップフロアブル** 2000倍（ウンカ類・カメムシ類他 収穫14日前まで）
  又は
  スタークル液剤10 1000倍（ウンカ類・カメムシ類他 収穫7日前まで）

粒剤体系

- **ゴウケツモンスター粒剤** 3kg（いもち病、紋枯病、ごま葉枯病他）（出穂10日前まで 但し、収穫45日前まで）
- **オリブライト250G** 250g（穂いもち 出穂30日前~5日前まで）（葉いもち 初発10日前~初発時）（出穂5日前まで 但し、収穫45日前まで）（いもち病、紋枯病、稲こうじ病・ウンカ類・カメムシ類他）
- **コラトップ豆つぶ** 250g
- **キラップ粒剤** 3kg（ウンカ類・カメムシ類 収穫14日前まで）
  又は
  スタークル豆つぶ 250g（ウンカ類・カメムシ類他 収穫7日前まで）

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

農薬名	10a当たり使用量	使用時期	使用回数	使用方法
スクミノン	1~4kg	移植後（但し、収穫60日前まで）	2回以内	散布
ジャンボたにしくん	1~2kg	移植後（但し、収穫60日前まで）	2回以内	散布

※スクミノン、ジャンボたにしくんは誘引性有り。食毒による死亡や異常行動を引き起こす。
極力浅水にし、水の深い所に集中的に散布すると効果的。

病害虫

- 生育初期にいもち病の発生が多い場合は、左記のいもち剤による補正防除を行う。
- 紋枯病は、ちっ素過多で過繁茂ぎみの圃場に発生が多い。前年までに本病の発生が多い圃場では、箱剤はスクラム箱粒剤を使用する。出穂期以降の防除では、効果が劣るため、出穂20日前にオリブライト250Gでの防除が望ましい。
- スタークル剤（ネオニコチノイド系農薬）は、ミツバチに対して影響を及ぼす可能性があるので開花期の防除では使用しない。

粒剤体系

- 粒剤による防除は、湛水状態（３㎝程度）を７日間は保ち、落水やかけ流しをしない。また、稲体に薬剤が浸透するまで時間がかかるので、目安として防除適期の４~７日前までに実施する。

※農薬の飛散に注意しましょう。

土づくり

◎家畜ふん尿処理物の利用
基肥に牛ふんの発酵処理物を使用する場合、10a当たり1~2トンを春先までに施用して、化学肥料の施用量は基準の2/3程度にする。

◎土壌改良資材の施用

施用の時期	資材名	施用量（kg/10a）	備考
冬の間~代かき前	ミネラルG	140~200	根の活力を高め、登熟向上（乳白、心白等）、倒状・病害の軽減につながる
基肥	シリカサポート1号	40	

- JAでは、土壌診断を行っています。
- 土壌診断を行い、診断結果に基づいた適正な施用を行いましょう。

施肥

コシヒカリ（kg／10a）

肥料名	基肥	穂肥	成分量
くみあい48号（16-16-16）	25	—	N—5.6~6.4 P—4.0 K—5.6~6.4
NK化成2号（16-0-16）	—	10~15	

夢つくし（kg／10a）

肥料名	基肥	穂肥	成分量
くみあい48号（16-16-16）	30	—	N—7.2 P—4.8 K—7.2
NK化成2号（16-0-16）	—	15	

- 穂肥は1回を基本とし出穂20~18日前（幼穂長2~5㎜）に行う。
  しかし、穂肥を施用しても葉色が出ない場合には2回目を施用する。
- 穂肥の時期、量は葉色・茎数・草丈等から判断し、早期水稲情報等を参考にして行う。
- 前作がある場合の肥料分の残存量は、前作の種類や収穫時期、収穫量などによって差が大きいので注意する。
- 野菜後作の場合は基肥を施用せず、その後の生育を見ながら穂肥の量、時期を調整する。

基肥が側条施肥の場合

- 肥料はベスト化成444を使用する。
  基肥量は10a当たり、コシヒカリで22kg、夢つくしで25kgを目安とする。
- 固結して機械に詰まる可能性があるので側条施肥の場合はくみあい48号の使用はしない。

基肥一回全量施肥（一発肥料）の場合

（kg／10a）

品種名	肥料名	基肥 全層施肥	基肥 側条施肥	全層施肥の成分量
コシヒカリ	エムコート2000早生90日タイプ（20-10-10）	35	30	N—7.0（3.5） P—3.5 K—3.5
夢つくし		40	35	N—8.0（4.0） P—4.0 K—4.0

※成分量Nの（　）の数値は緩効性窒素の成分量（内数）。

※水稲管理日誌を必ず記帳しましょう。 肥料・農薬の注文は JA へ!!

この栽培暦は、JA米の生産基準を兼ねています、
JA米とそれ以外を区分してJAに出荷しましょう

除草

- 移植時とは、田植同時処理が可能な除草剤。移植直後とは、田植後当日処理が可能な除草剤。
- 同じ除草剤を連年使用すると特定の雑草が増えるので、他の除草剤を使用する。
- 広葉雑草の多いほ場では使用時期範囲の早めの時期に散布する。
- 散布後7日は湛水状態を保ち掛け流しをしない。

◎初期除草剤

剤型	除草剤名	使用時期	使用量（10a当り）		使用上の注意
1キロ粒剤	パワーウルフ1キロ粒剤51	移植時~ノビエ2.5葉期まで（移植後30日まで）	1kg	湛水	●漏水田、軟弱苗、浅植え、強還元田では薬害の恐れがあるので注意を要する。 ●田植え同時処理を行う場合は、特に浅植え、浮き苗が生じないように代かき、均平作業及び植え付けは丁寧に行う（薬害防止）。 ●散布時はやや深めに湛水し、田面が露出しない状態で散布する。 ●ジャンボ剤は水田に均等に投げ込む。処理時には水口と水尻をしっかり止め、完全に湛水した状態（水深5cm以上）を保つ。
	エンペラー1キロ粒剤	移植時~ノビエ3.0葉期まで（収穫75日前まで）			
	キマリテ1キロ粒剤	移植時~ノビエ3.0葉期まで（移植後30日まで）			
フロアブル剤	サラブレッドKAIフロアブル	移植時~ノビエ2.5葉期まで（移植後30日まで）	500mℓ		
	エンペラーフロアブル	移植時~ノビエ3.0葉期まで（移植後30日まで）			
	キマリテフロアブル	移植時~ノビエ3.0葉期まで（移植後30日まで）			
ジャンボ剤	キマリテジャンボ	移植直後~ノビエ3.0葉期まで（移植後30日まで）	10パック（300g）		
	ボデーガードプロジャンボ（注1）	移植後5日~ノビエ3.0葉期まで（移植後30日まで）			

（注1）ボデーガードプロジャンボは一部の後作物に薬害のおそれがありますのでご注意ください。

◎中後期除草剤

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用量（10a当り）		使用上の注意
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日~ノビエ4.0葉期まで（収穫30日前まで）	1kg	湛水散布	●散布する前に水の出入りを止め、湛水のままムラのないように均等に散布する。 ●散布後7日間は湛水状態（水深3~5cm程度）を保ち、落水、かけ流しはしない。
		移植後25日~ノビエ5.0葉期まで（収穫30日前まで）	1.5kg		
	クリンチャーEW	移植後20日~ノビエ6.0葉期まで（収穫30日前まで）	水量 100ℓ 薬量 100mℓ ※展着剤加用	湛水落水散布	●散布の1~2日前に落水し、雑草の茎葉によく付着するように散布する。 ●散布後3日間は水を入れない。 ●トドメMF乳剤とバサグラン（Na）液剤の混用は不可
	トドメMF乳剤	移植後14日~ノビエ7.0葉期まで（収穫50日前まで）	水量 100ℓ 薬量 200mℓ		
広葉 カヤツリグサ	バサグラン（Na）液剤	移植後15日~55日（収穫50日前まで）	水量 100ℓ 薬量 700mℓ	落水散布	
ノビエ 広葉 カヤツリグサ	クリンチャーバスME液剤	移植後15日~ノビエ5.0葉期まで（収穫50日前まで）	水量 100ℓ 薬量 1000mℓ		
	アクシズMX1キロ粒剤	移植後7日~ノビエ4.0葉期まで（収穫45日前まで）	1kg	湛水散布	●散布後、7日間は湛水状態（水深3~5cm程度）を保ち、落水、かけ流しはしない。
	レブラスジャンボ	移植後14日~ノビエ4.0葉期まで（収穫60日前まで）	10パック（400g）		

「この稲作ごよみはJAむなかたホームページからもご覧いただけます」 http://www.ja-munakata.or.jp/dt_meeting.cgi

作成年月：令和2年12月